

第1回 交通系 IC カードの普及・利便性拡大に向けた検討会

議 事 概 要

日時：平成27年4月13日（月）16：00～18：00

場所：中央合同庁舎3号館11F 特別会議室

【委員からの主なコメント】

- 交通系 IC カードの導入にかかるコストが不透明なため、事業者・行政ともに概略の議論もしにくく、手を打ちにくい。コストが明確になるような議論を期待する。
- 大都市と地方では、IC カードに要求されるスペックが異なり、地方においてはオーバースペックとなってしまう。コスト低減の観点からも簡易的な方式は考えられないか。地方のニーズに合った低コストのシステムは、海外展開にも資するのではないか。
- 地方の事業者が IC カードサービスの導入を検討する際に、コストの話もそうだが、まずどこに相談していいかも分からない状況であり、手を上げた事業者が入りやすいシステムチックな枠組みになってほしい。
- 交通系 IC カード導入のメリットを示す上でも、これまでに地方圏で導入された際に利用者数の増加や乗降時間の短縮など、どのような変化があったかが明確になると、後に続く事業者が検討しやすいのではないか。
- 訪日外国人に対し、地図のような形で IC カードサービスが使えるエリアを発信していくような取組も必要ではないか。
- 交通系 IC カードにより得られる情報をどう活用していくかも重要で、発行主体に留めるのではなく、地域の交通ネットワークの再編等につなげていく必要がある。
- これまで自治体と事業者が主体だったが、観光協会などの第三者が交通系 IC カードの導入や情報の活用に参加でき、社会システムとして普及が進んでいくような仕組みは考えられないか。

以 上